

会員企業の皆様に、**開示レポート作成の準備作業ができる状態**となってもらうことを目的として、主にレポート作成準備作業の詳細内容と、レポート作成作業の流れと標準開示ツールの使い方を説明した。

*人的資本経営とは、**人材を「資本」として捉え**、その価値を最大限に引き出すことで、**中長期的な企業価値向上につながる経営のあり方**のこと

概要

本研究会では、人的資本経営導入支援の取組として、人的資本開示レポートの作成・開示を行う。

当該取組に至った経緯

- 広島県の就業者数や平均労働時間が減少していく長期的な流れの中で、県内企業にとっては、労働生産性の向上が重要な経営課題である。
- こうした背景があり、労働生産性、ひいては企業価値の向上に繋がる取り組みの一つとして人的資本経営導入支援を商工労働局人的資本経営促進課が中心となり支援している。[第2回ワークショップの活動記録](#)

第3回目ワークショップの内容

- ① 伊藤邦雄先生パネルディスカッション
本研究会の運営委員長である伊藤先生より、本取組の意義・メリットについての討議を実施。人的資本情報の開示に高い効果があることや、開示に向けた社内関係者の巻き込み方についても説明。
- ② 人的資本開示作業の進め方と標準開示ツール**の使い方概要
開示レポート作成準備と作成期間の詳細手順を説明。
また、作成期間の開示ツールの使用イメージを説明。
- ③ 人的資本経営・開示の最新事例
非上場にも関わらず、開示レポートを作成している企業が“なぜ”作成をしたのか、“どんな”メリットがあったのかを実例を用いて説明。また、開示レポートを作成したことで、日々の業務がどう変わったのかを説明。

**研究会参加企業の意見を聴取しながら、研究会事務局が作成を予定している人的資本情報の取りまとめや開示等をサポートするツール

取組の成果

- 「あまり理解できなかった」という回答は無く、参加者には今回のワークショップ内容を理解いただいた。
- レポート作成準備作業とレポート作成の具体的な手順を説明することで、理解いただいた。次回のワークショップでもレポート作成作業の具体的な手順の説明を行う。

「よく理解できた」
「ある程度理解できた」
計



伊藤邦雄先生 パネルディスカッションの様子



43社 52名が参加
(現地とオンライン合計)

今後の予定

- 次回のワークショップ（11月15日）では、レポート作成期間の具体的な手順と考え方などを説明予定。
- また、標準開示ツールを会員企業に正式、公開予定。ワークショップ後、標準開示ツールを用い、実際にレポート作成作業に着手する。